

緊急企画！お役立てください

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、日々の生活の中で困難を抱えている人も多くいます。行政やNPOによる相談窓口を紹介します。

DV被害相談  
身近に相談できる人がいます

◆NPO法人 ハーティ仙台  
ハーティ仙台は、仙台市を中心に、主にDV・デートDV及び性暴力被害女性の回復を目標に様々な支援活動をしています。現在、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、家庭内トラブルの相談が増えているとして注意を呼びかけ、電話相談を無料で受け付けています。配偶者等からの暴力に不安を感じている人はご相談を。  
TEL:022-274-1885  
相談時間:平日13:30~16:30  
(第1・2・3・4火曜日18:30~21:00)

DV被害相談  
多言語で24時間受け付けています

◆内閣府 DV相談+(プラス)  
内閣府が新型コロナウイルスの感染拡大に伴い懸念されるDV被害等の増加や深刻化に対応するため、2020年4月20日から始めた新たな無料相談窓口です。メール・チャットでは外国語にも対応して相談を受け付けています(英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語)。  
TEL:0120-279-889(24時間受付)  
専用メールフォーム:  
<https://form.soudanplus.jp/mail>(24時間受付)  
チャット相談:<https://form.soudanplus.jp/ja>  
(受付12:00~22:00)



DV相談+(プラス)  
ホームページ

新型コロナウイルスに便乗したトラブルや悪質商法にご注意ください！

仙台市消費生活センターでは、新型コロナウイルスに関連した給付金や助成金の給付などに便乗した消費者トラブルに注意を呼び掛けている。

- 行政機関の委託業者を名乗る業者からの怪しい電話や訪問
- 心当たりのない送信元からのメール

このような、怪しい・おかしいと思うものには反応せず、無視しましょう。絶対に個人情報伝えてはいけません。新型コロナウイルスに便乗した悪質な勧誘を行う業者には耳を貸さず、正確な情報に基づいて冷静に対応しましょう。迷ったときや困ったときは、早めに仙台市消費生活センターにご相談ください。

消費者生活相談ダイヤル:022-268-7867(なやむな) 消費者ホットライン:188(いやや)

相談時間:月曜日から金曜日 9:00~17:00(受付は16:30まで)

土曜日 9:00~16:00(受付は16:00まで)

休館日:日曜日、祝日、年末年始

対象:仙台市に在住または通勤・通学している方



仙台市消費生活センター  
マスコットキャラクター  
さっち(察知)

つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 6月10日(水)、24日(水)

開館時間 月曜日~土曜日 9:00-22:00  
日曜日・祝日 9:00-18:00  
休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3  
TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042  
[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>  
[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>  
[ツイッター] @SCSC4CA

「ぱれっと」バックナンバーは  
ホームページから  
ダウンロードできます。



「ぱれっと」は、市民ライターと協働で制作しています。ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行 仙台市市民活動サポートセンター  
(指定管理者:特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンター)  
発行日 2020年6月1日  
デザイン PEACE Inc.

# ぱれっと 6

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと 2020 No.250

「ぱれっと」には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



仙台をワクワクさせる人物をご紹介します

今月のワクワクビト

東北大学生の猫サークル とんねこ 代表

くどう じょうじ  
工藤 文治 さん (21)

猫が好き。  
だから一緒に考えていこう

大学2年生の工藤さんは、サークル仲間と、大学キャンパス内にいる野良猫の世話をしています。適切なエサやり、トイレの整備、獣医師と共同での去勢・不妊手術を行うことで、猫によるゴミ漁りや、フン・鳴き声の問題を防いでいます。活動の根底には、「地域の厄介者になることで殺処分される猫を減らしたい」という思いがあります。

実家で長年猫を飼ってきた工藤さん。大学入学を機に始まった一人暮らしの寂しさから、「猫と触れ合えれば」とサークルに参加。勉強会で、保健所では引き取り手のいない多くの猫を処分せざるを得ないため、苦しみの伴うガス室で一度に殺処分している現状を知り「衝撃的だった」と振り返ります。「可愛いからと、野良猫へむやみにエサを与えてしまう人も多い」という課題意識から、力を入れるのは情報発信です。大学祭では、来場者に正しい飼育知識をクイズ形式で発信。楽しみながらヒトも猫も住みやすい環境について考える人を増やそうとしています。

目指すのは、猫の殺処分ゼロの社会です。

取材・文 小田嶋くるみ



東北大学生の猫サークル とんねこ

HP <https://tonneko2014.wixsite.com/tonneko> Twitter @tonneko  
年間約300匹の猫が宮城県で殺処分されている現状を変えたいと2014年発足。2018年に大学公認サークルとなり、川内・青葉山キャンパスで約15匹を対象に「地域猫活動」を展開中。猫による生活環境被害を減らし、今いる猫の命を全うさせるため世話に励んでいます。福島大学の猫サークルとも連携し合同勉強会も実施。SNSや大学祭で猫の殺処分を無くすための情報発信の他、保護猫シェルターでのボランティア活動を行っています。

特集

子どもたちの放課後を、地域で支える  
「お茶の間学習」

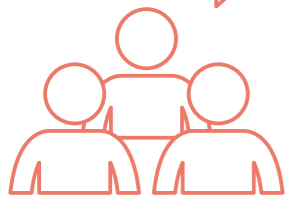
地域の課題を解決するために、様々な立場の人たちがコラボレーションする取り組みをご紹介します

# 子どもたちの放課後を、地域で支える 「お茶の間学習」

仙台市泉区最東部に位置する鶴が丘一丁目は、「鶴が丘ニュータウン」にあります。昭和50年代に分譲開始となったこの住宅地には古くからの住民が多く、若い世代が地域の外に出ていくことが多くなりました。少子高齢化がすすむ鶴が丘で、未来を担う子どもの成長を支えようと、町内会、地域の大学の学生たち、地域住民と一緒に取り組む子どもたちの居場所づくりをご紹介します。

## 鶴が丘一丁目「お茶の間学習」

自分たちのスキルを地域に活かしたい



先生役の  
鶴が丘一丁目町内会の皆さん

町で子どもたちの成長を支えたい



鶴が丘一丁目町内会  
副会長  
もりもと おさむ  
森本 修 さん

地域の役に立ちたい



仙台白百合女子大学学生団体  
「地域生き生きプロジェクト」代表  
かりの しき  
狩野 詩葵 さん

## 地域の支え合いで、子どもの成長を見守る

2017年4月から、放課後の子どもたちの居場所をつくろうと、鶴が丘一丁目集会所を開放して、「お茶の間学習」が開かれています。

学習を見ているのは、鶴が丘一丁目町内会の役員、地域の人たち、仙台白百合女子大学「地域生き生きプロジェクト」のメンバーです。地域生き生きプロジェクトは、大学のゼミ活動として「地域の支え合いで暮らしを豊かに」をテーマに、泉区でフィールドワークしてきました。2019年にゼミから発展。現在26人の学生が学びを活かし、地域活性化のための活動を続けています。「お茶の間学習」に通うのは、鶴が丘小学校の1年生から6年生の子どもたち15人です。「お茶の間学習」は、学校の放課後子ども教室がお休みの火・木曜日の午後3

時から5時半まで開催。地域の方が先生役となり、宿題と英語学習をしています。宿題を見るのは鶴が丘在住の元学校教諭です。「宿題をまずやる習慣をつけることが大事」と話し、様々な学年の子どもの様子を個別に見守ります。希望者を対象にした英語学習を受け持つのは、英会話教室の指導経験者です。簡単な挨拶を学んだり、誰もが知っている「きらきら星」「ABCのうた」などを英語で歌ったりします。「教えた歌を口ずさんでいるのを聞くと、次は何を教えようかと嬉しくなる」と笑顔をこぼします。中には他の子の学習を邪魔したり、喧嘩をしたりする子もいますが、町内会役員や、学生が個別にフォロー。学習後は、学生と一緒に外で遊んだり、地域の人から将棋や折り紙を教わったりして過ごします。開設1年目に実施した保護者へのアンケート



調査では、大半が「参加して良かった」と答えています。「放課後に安心してあずけられる場所ができた」「子どもが勉強するようになった」「学生や地域の人と交流する機会ができた」という声が上がりました。

合いを重ね、2017年4月、「お茶の間学習」を開設し、これまで50人の子どもたちを迎え入れてきました。

## 地域の課題を、地域の協力で解決に導く

2011年の東日本大震災の経験から、鶴が丘一丁目町内会では、高齢者を孤立させない方法を模索していました。そんな中、鶴が丘一丁目町内会副会長の森本修さんは、鶴が丘に学習塾が無いことで、子どもを遠方の学習塾にバスで通わせていることや、共働き世帯の子どもたちが放課後子どもだけで過ごしているという、子育て世代の困りごとを知りました。「多世代が関わる機会をつくることで、これらの地域課題を解決させよう」と、放課後学習の必要性を提案。地域に住む人たちに、子どもの学習支援を呼びかけ賛同を得ました。新年度開設を目指し、資金面は民間の助成金を獲得。運営方法を話し合うために2016年9月に検討会を立ち上げ、町内会、子ども会会長、鶴が丘小学校校長が参加。森本さんの呼びかけで、普段から地域のお祭りなどを手伝っていた生き生きプロジェクトの学生たちも参画。月1回、多世代で集まり話し

## 地域コミュニティが育つ「お茶の間学習」

2020年、「お茶の間学習」で育まれたつながりは、地域に様々な変化をもたらしています。学生たちは、町内会からお祭りのブース運営を任せられるようになりました。「お茶の間学習」に来る子どもたちは、ゲームの景品を学生にアドバイスするなどし手伝います。子どもが祭りに参画すれば、そこには保護者も来て、保護者と町内会の自然な交流の場になります。生き生きプロジェクト代表の狩野詩葵さんは、「高齢者と若い世代をつなぎ、地域を次の世代につなぐための架け橋になりたい」と熱を込めます。また、「地域に関わる機会をくれるから、私たちが力を発揮できるんです」と言います。かつて家族が時間や空間を共有していた「お茶の間」が、多様な人が交わる「地域のお茶の間」となって、子どもたちの成長を支えています。(取材・文 水原のぞみ)

●鶴が丘一丁目「お茶の間学習」 Mail sasaeai33a3@outlook.jp



### サポセン主催イベントの参加者から「私のあしあと」 見えてきた、まちの別の景色

ごみ拾いのボランティアを見つけて応募しました。以前、切手整理のボランティアで参加した、サポセンの企画でした。認定NPO法人グリーンバードは、毎月ごみ拾いの活動をしているのに、自分の目には触れたことが無くて知りませんでした。身近にボランティアに参加できる場所がいっぱいあるのですね。いざ、まちを歩いて、ごみ拾いしてみると、案外ごみが多くて驚きました。普段なら、気がつかないことに目を向ける機会になりました。

12/22認定NPO法人グリーンバード  
「ちょっと。ボランティア」参加者  
宮城野区在住 佐藤さん 40代(男性)



### サポセン蔵書から活動に役立つ書籍をご紹介します 西公園プレーパーク15周年記念誌 プレーパーク解体新書

西公園プレーパークの会は、仙台市青葉区に広がる緑豊かな西公園で、子どもたちの遊び場を運営しています。2019年に活動15周年を迎えて、プレーパークの「今」と「これまで」を紐解いた冊子を発行しました。なぜ、遊び場が必要なのか、子どもの「やってみよう」を支えるプレーリーダーの役割とは、そもそも子どもが遊びの中で成長するとはどんなことなのか。子どもを見守りつづけ、子どもと共に成長をとげたプレーパークの記録がつけられています。



発行 西公園プレーパークの会



### 活動を支える、人、モノ、こと、を募集して☑ 募集中！「緊急食料支援×見守りプロジェクト」ご寄付のお願い

NPO法人アスイクは、自治体と協働して生活保護やひとり親世帯などの学習・生活支援事業を宮城県内の3市21町村で実施しています。参加している家庭は700家庭以上。今回、新型コロナウイルスの感染拡大によって生活に困窮しているひとり親家庭などのために、継続的な食料支援と見守りを始めました。寄付金は口座振込み。<ゆうちょ銀行から>記号・番号:02210-8-142057 <ゆうちょ銀行以外から>銀行名:ゆうちょ銀行/支店:二二九店/口座番号:当座0142057 ※お名前、ご連絡先(メールアドレス又は住所)をadmin@asuiku.orgまでお知らせ下さい。お問い合わせ 仙台市宮城野区榴岡4-5-2 大野第2ビル2階 TEL 022-781-5576/FAX 022-781-5591/Mail info@asuiku.org



### 活動を始める一歩を応援します。 スイートポテトを味わいながら、 地域おこしを応援

一般社団法人ReRootsは、東日本大震災により津波で被災した仙台市若林区で、「復旧から復興へ、そして地域おこしへ」のコンセプトで様々な活動をしてきました。その中の一つ、農業体験企画「おいもプロジェクト」から発展し、2020年4月から始まったのが「仙台いも工房るぼて」です。地域で獲れた芋を活用し、地域のお店「仙台いも工房」のレシピを受け継ぎ商品化しました。現在、花京院市場で販売中!



「仙台いも工房るぼて」  
Twitter公式アカウントから  
販売店をチェックしよう!

